

Press Release(H27/3/17)

本学と岐阜県との、「清流の国ぎふ 防災・減災センター設置」及び「慢性腎臓病（CKD）医療連携寄附講座の設置」に関する協定締結式について

平素よりお世話になっております。

本学と岐阜県は、地域防災力の強化や、慢性腎臓病（CKD）の発症及び重症化予防を目的に、「清流の国ぎふ 防災・減災センター設置に関する協定」及び「慢性腎臓病（CKD）医療連携寄附講座の設置に関する協定」を締結します。

については、下記のとおり協定締結式を行いますので取材方よろしくお願ひします。

記

1 日 時 平成27年3月20日（金） 13:30~13:50

2 場 所 岐阜大学学長室（岐阜大学本部棟3階、岐阜市柳戸1-1）

3 出席者 岐阜大学学長 森脇 久隆
岐阜県知事 古田 肇

4 内 容 (1) 協定概要の説明
「清流の国ぎふ 防災・減災センター設置に関する協定」
河合 孝憲 県危機管理部長
「慢性腎臓病（CKD）医療連携寄附講座の設置に関する協定」
石原 佳洋 県健康福祉部長
(2) 協定書署名・交換
(3) 岐阜県知事あいさつ
(4) 岐阜大学学長あいさつ

* 協定の概要 裏面参照

* 岐阜県も同日にプレスリリースする予定です。

【本件に関する問い合わせ先】

岐阜大学総合企画部総務課
課長補佐 長屋 倫明
TEL: 058-293-2007

【清流の国ぎふ 防災・減災センター設置に関する協定】

○協定概要について

(1) 目的

災害時の被害を最小限に抑えるため、実際に災害対応を行う岐阜県と高度教育機能・研究機能を持つ岐阜大学が共同して、防災・減災にかかる実践的シンクタンク機能を担う「清流の国ぎふ 防災・減災センター」を設置し、地域防災力の強化を図る。

(2) 事業内容

・人材育成・普及啓発 多様な分野・職種等を対象にした実践的な防災研修の実施と、県民向け防災啓発の実施

・技術支援 市町村及び企業向け知的支援の実施

・調査研究 県と大学が連携した減災社会実現に向けた調査研究

(3) 開設 平成27年4月1日

(4) 開設場所 岐阜大学内

(5) 事業費 平成27年度 19,000千円

【慢性腎臓病(CKD)医療連携寄附講座の設置に関する協定】

○協定概要について

慢性腎臓病（以下、「CKD」と記載。）は、腎臓の障害や機能の低下が慢性的に続く状態の総称。生活習慣病と密接に関連して自覚症状のないまま進行し、重症化し人工透析治療に至れば、県民の生命や生活の質を脅かすだけでなく医療費の増嵩を招く。人工透析の患者数が徐々に増加する一方で、県下の腎臓専門医は全国平均に比べて少なく、健康診断からその治療の諸段階で、CKDを見逃さず適切に保健・医療が提供される体制づくりが重要となっている。

そのため、県民のCKDの発症及び重症化を予防し、適切な保健・医療の提供に繋げるため、CKD医療人材育成の育成確保や在宅医療水準の充実など、保健・医療における連携体制の向上を図り、岐阜県のCKD対策を総合的に推進することを目的として、岐阜大学（医学系研究科）に、「慢性腎臓病（CKD）医療連携講座（岐阜県）」を開設する。

・寄附講座の期間：平成27年4月1日から平成30年3月31日まで（3年間を予定）

・寄附金額：27年度予算額30,000千円、28、29年度も同額を予定

○寄附講座とは

外部(行政、企業等)からの寄附金をもとに、大学や研究機関が講座を開設して、人材育成や調査研究などの活動を行うもの。